



天皇杯全国都道府県対抗 男子駅伝競走大会に出場

こやま しょうや
小山 翔也 さん

**元来の負けず嫌い
悔しさは次の一歩への原動力**
蓮田市で生まれ育ち、小学生の時にサッカーを始めた。トップ下やサイドバックのポジションで活躍し、その時から既に走ることに魅力を感じていた。小学校の持久走大会では毎年1位の成績を収め、中学生になつてからは陸上部に加入した。走るのが好きだったこともありすが、クラブチームで続けていたサッカーで、走りを生かせればと思つていました」

転機は中学1年生の時。ジュニアオリンピック陸上競技大会へ出場し、男子1500メートルで決勝まで勝ち進んだものの、決勝では自分

の納得のいく走りができなかった。このことをきっかけに、サッカーを辞め、陸上一本に絞る決意をした。サッカーのために始めた陸上が、いつの間にか自身の中で大きな存在となつていった。

「1年生の時は、焦つてペースを乱すことがありましたが、今はレースを冷静に見極めて走ることを意識しています」一つ一つのレースに対してこだわりを持ち、どこでペースを上げ、仕掛けていくかなど、常に理想の走りを目指している。

**陸上に掛ける日々
陸上があつてこそ人生**
中学2年生になり、新人体育大会県大会陸上競技の男子1500メートルと男子3000メートルで2冠を制し、全日本中学校陸上競技選手権大会では男子1500メートルで決勝に進出し、12位となった。1月には天皇杯全国都道府県対抗男子駅伝競走大会への出場が決まった。「県の代表ということもあり、選手としての意識をより高く持つようになりました」

大会当日、観客の熱気や選手の気配に緊張も感じていたが、ウォーミングアップが終わる頃には闘志が勝つていった。走り始めてからは、1秒でも早くアンカーにたすきを渡すことを考えていた。17位という結果



については、正直悔しいです。区間では6位でしたが、自分より速い人が5人もいるということ。数秒でも速く走り、もっとチームに貢献したかったです」

中学生のうちの目標は、全日本中学校陸上競技選手権大会の男子1500メートルと男子3000メートルで優勝すること。高校、大学でも常に全国トップを目指したいという。将来的にもマラソンを続けたいです。日本新記録を出すなどの活躍をして、世界に通用する選手になることが目標です」次のゴールラインを目指し、今日も力強く地面を蹴る。



3/12
平野中学校
**平野中発!
新名物誕生!?**

地域活性化や地元PRをテーマに、2年生が考えた蓮田の新名物アイデア発表会が行われました。家庭科でオリジナルレシピを、美術で商品パッケージやキャッチフレーズを考え発表。特産品の梨を使った商品はもちろんのこと、はなみずきみそを使った。パウンドケーキや、れんこん入りハンバーガーなど蓮田にちなんだ個性豊かな商品が並び、発表後には、商工会のかたも参加し販売ターゲット層や価格などについて意見を交換しました。中にはすぐに商品化できると絶賛された商品もありました。

梨とそば粉を使ったフッキーを発表した澤石彩那さんは、「そば粉の配合を変え何度も作り直しました。栄養価が高いので健康を気にかける大人に食べてほしいです」と話してくれました。



選挙啓発駅頭キャンペーン (3月18日・蓮田駅)



**自分の声を
届けよう**

4年に一度行われる統一地方選挙。蓮田市選挙管理委員会が、若い有権者に選挙について関心を持ってもらおうと、蓮田松韻高校の生徒とともに、投票を呼びかけました。柳田優騎さん(写真左)・阿部晴香さん(同右)は「啓発活動を通して選挙のたいせつさを学ぶことができました。18歳になったら責任を持って投票をしたいです」と、未来の有権者として語ってくれました。

図書館新館開館20周年を記念した公演に、広報大使にやんたぶうが登場。子どもたちは、いっしょに歌を歌ったり、絵本の読み聞かせを聞いたりして楽しい時間を過ごしました。「大好きなやんたぶうとはすぴいに会えてうれしかった」と安江莉希ちゃん・翔大ちゃん。写真撮影会では、はすぴいに抱きついて喜びを表現していました。

**にやんたぶうと
遊んだよ!**



図書館新館開館20周年記念公演
「にやんたぶうとあ・そ・ぼ! in はすだ」(3月17日・図書館)